

第64回 社会を明るくする運動・各支部の活動報告 「立ち直りを支える地域のチカラ」を訴え「汗流す」



●東支部・有功地区の夏祭りで啓発グッズ配付に参加したメンバー

東 支部・河北地域は、市の北東部で新興住宅も多く、犯罪や非行も多くなってきています。

子供や保護者に啓発を行うには夏祭りが最適です。今年も、7月19日直川、20日山口・川永、26日紀伊の各小学校で行われました。直川小では1年生による神輿2基が出て盛り上がりました。更生保護関係者の出席は、保護司3名、更女8名計11名でした。

有功では、地域夏祭りとして園部公園で約6000人もの参加者で賑わいました。啓発に参加頂いたのは保護司5名・更女14名でしたが、連合自治会・各種団体の地区民の皆さんの協力を得て短時間で終了することができました。

河北地区担当者 池田 典生・記



直川小での
子ども神輿

西 支部・街頭啓発活動

去る7月25日夕刻、南海和歌山市駅前において「社会を明るくする運動」の啓発活動を行いました。

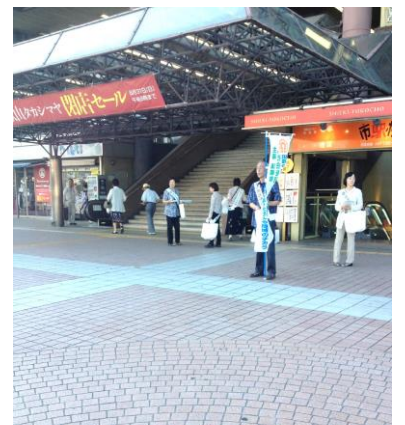
この日最高気温は37.3度。夕刻には多少は下がっていましたが、道路からの照り返しがまだまだ強い中、参加保護司はそれぞれの持ち場で汗を流しながらポケットティッシュやうちわを配りました。

比較的乗降客の少ない時間帯でしたが、学校帰りの学生さんたちと言葉を交わしたり、通行中の女性から「ごころさま」と声を掛けられたりしながら約40分間の活動を終了しました。

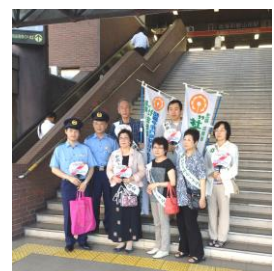
西支部として初めての和歌山市駅前での啓発活動でしたが、日程や活動時間帯等を検討しながら、来年以降の取組みについても考えていきたいと思っています。

尚、この日は西警察署生活安全課

から2名の警察官が同行、私たちと一緒に啓発グッズの配布に参加頂きました。（高橋 照臣・記）



▲人通りが少ないですね 南海市駅前には！



▲参加いただいた「おまわりさん」ご苦労さまでした・・・。

平成26年7月18日(金)午後1時30分から和歌山県立図書館メディアアートホールで恒例となった南支部「社会を明るくする運動」の講演会を開催しました。参加者は支部内の更生保護関係者及び各小学校区の方々合わせて95名。

今年は、「和歌山県子ども・女性・障害者センター」の堀 寿恭先生に『児童相談所の役割と現状』という演題でお話をして頂きました。

(杉谷 睦生・記)

講演内容の紹介

1. 子ども・女性・障害者センターの概要について

同センターには、以下の4つの相談所がある。

- ①児童相談所 ②女性相談所
- ③身体障害者更生相談所
- ④知的障害者更生相談所

2. 「793」て何の数字？

平成25年4月から今年の3月までの「児童相談数」です。中でも児童虐待が大変多くなっており、親権を持つ者が虐待をする事例が増えています。虐待にも色々あり、最も多いのは、身体的虐待です。その他にも性的虐待やネグレクト・心理的虐待等です。



3. どのように虐待に対応するか？

まず、虐待を早期発見することが大切であり、発見すれば直ぐ報告することが大事。次に、児童の安全確認をして保護者の出頭を要求したり立ち入り調査をします。事例によっては、児童の一時保護も行います。

4. 更生保護に携わる皆様へ

子どもたちは、憂さ晴らしするために「万引」をすることがあるが、矯正のためであれ、手を出し、暴力を振るわないことが基本である。

子どもたちの健やかな成長と自立のために子どもたちの居場所を作ることが、最も大切なことでもあります。そのためには、保護観察所・児童相談所・地域の三者が協力することが大切なことです。お互いに連絡を取り合い協力し、

「子どもたちの居場所」を作り、「明日に希望の持てる町づくり」をすることが大切である。子供達の健全な自立は社会の宝であります。

街頭啓発活動を実施しました。

(宮本 二・記)



北支部では、社会を明るくする運動行事の一環として、7月18日パームシティで街頭啓発活動を行いました。

この活動は、毎年行っていますが今年は、支部保護司27名に柴田観察官も参加していただきました。

パームシティの3か所の入り口

に分散して、啓発用のぼりを立て買い物客に啓発用物品を配布しました。

この日は、子どもたちが夏休みに入った土曜日ということもあって、母親などと一緒に買い物に来る子供たちも多く、うちわ・ティッシュ・啓発用チラシ等の他、特に子供たちには「元気に大きくなれよ」との願



「持回りミニ集会」

今年は、貴志地区が担当

恒例の北支部ミニ集会在、7月24日午後7時より河北コミセンで開催されました。今年は、保護観察所倉谷企画調整課長の「よりよい地域づくりのために」と題した講話に、地域の人たちも多数参加頂きました。積極的な意見交換もあり有意義な集会となった。

いを込めてバンドエイドなどを配布しました。

配布物品は30分ほどで無くなり街頭啓発活動を終了しました。

第64回社明を明るくする運動「作文コンテスト」一次審査 優秀作63点が県の二次審査へ!!



今年も秀作揃い
選ぶのが大変でした。

疲れたけれど
勉強になるよね

去る9月19日、保護観察所1階会議室において「社明作文コンテスト」の和歌山市内小・中学生の応募作品の一次審査が実施されました。

昨年の反省から開始時間を30分早め、午前9時30分よりスタート。各支部よりベテラン保護司4名と更生保護女性会より2名、BBSより1名。それに、小西会長・乾犯罪予防担当副会長・玉井犯罪予防部会長の総勢22名が審査に当たりました。

今回の応募総数は1225点。この中から優秀作だけが、県の二次審査へ送られる。全員が真剣に作文と向かい合い、一生懸命に書いてくれた子どもたちの気持ちに応えようと、ひたすら読む、読む、読む。

取材に行って、気軽に声掛けするのも、ためられるほど…。時々隣の人やグループでの協議する声が聞こえるだけ。あっという間に昼食の時間となり、ここでやっと一息。



自然と笑顔がこぼれる。昼食をとり、雑談を交わし、午後からのエネルギーを充填。午後からもまた、作文とにらめっこが続く……。

最終的に全員の合意で、県へ送る優秀作63点を選び終えたのは午後4時30分。審査にあたられた皆さま本当にご苦労さま。(編集子)

行事予定掲示板

●東支部・第3期定期研修
・日時：12月4日(木)
PM 15:30
・場所：紀三井寺はやし

●西支部・第3期定期研修
・日時：11月21日(金)
PM 15:30
・場所：紀三井寺はやし

◆更生保護制度施行65周年記念・和歌山県更生保護大会：10月28日・和歌山市民会館

◆4支部合同自主研修会：11月7日(金)13:30~各支部代表保護司の体験発表会

◆人権フェスタ映画会：11月15日AM10時和歌山ビッグホール軽運動場(上映1回)

◆更生保護制度施行65周年記念・近畿大会：11月26日・京都コンサートホール

●南支部・第3期定期研修
・日時：12月2日(火)
PM 15:30
・場所：紀三井寺はやし

●北支部・第3期定期研修
・日時：10月8日(火)
PM 13:30
・場所：河北コミセン

保護司会・更生保護女性会・協力雇用主の「三者合同研修会及び懇親会」開催報告

201名が山下検事正の講演に聴き入る

平成26年度の三者合同研修会が9月29日、紀三井寺はやしで開催されました。

今回は、和歌山地方検察庁・山下輝年検事正を講師にお招きし「常識の落とし穴」と題しての講演を頂きました。講師の巧みな話しぶりと豊富な国際経験・知識に裏打ちされた「目から鱗の内容」に、参加者全員が聴き入り、中身の濃い研修会となりました。

参加者は保護司会114名、市更女75名、協力雇用主会7名、観察所等5名の合計201名と大盛況でした。

研修会は2時30分より林研修部会長の進行でスタート。小西会長・小林保護観察所長の挨拶の後、山下検事正の講演となりました。パワーポイントを駆使し、「わかりやすく、楽しい」話に全員が引き込まれ、もっとお聞きしたいと思うほどの90分間でした。

最後に更生保護女性会の石谷会長の挨拶で無事終了。



懇親会 大いに盛り上がり相互の交流深まる!

5時15分より恒例の懇親会に。

例年よりも多くの方が参加、会場となった二階大広間はほぼ満席。



司会進行は野々村総務部会長。八幡協力雇用主会会長の挨拶の後、西村副会長の乾杯の音頭で、にぎやかに開宴。講師の山下検事正・小林観察所長・倉谷企画調整課長を囲み、和気あいあいの懇親会となり、明日の活動への鋭気と意欲を養うことができました。

もっと

お気軽にご利用ください。

サポートセンターが休日開設(月2回)しています。

●基本的には毎月第2・第4日曜日に開館しています●

- ◇開設時間：午後1時より6時まで（ご希望により午前中のご利用にも対応します）
- ◇駐在者：企画調整保護司1名
- ◇利用申込：対象者との面接等で使用希望の方は、事前にサポートセンターまでお電話ください。第2・第4日曜日以外の休日に利用したい場合も遠慮なくご相談ください。尚、面談以外での利用も、例えば保護司同士の地域処遇会議等でのご使用も、もちろんOKです。

サポートセンター和歌山：TEL 073-460-9298